



貴船

KIBUNE  MATSURI

まつり



7/24 Fri. 金 · 25 Sat. 土

神奈川県真鶴町 | MANAZURU

日本三大船祭り
国指定
重要無形民俗
文化財

貴船まつりは、
豊漁、無病息災を祈願する、
真鶴伝統の海の祭礼です。



EVENT

★宵宮イベント★

なぶらdeないと

貴船まつり宵宮コンサート2026

- 日時：7月24日(金)19:15 スタート
カラオケグランプリ & 大食い挑戦！ (一般参加)
- 会場：真鶴港岸壁広場 (雨天真鶴小学校体育館)
- ※ 前日の天気予報により会場を判断します。
- ※ イベント当日は込み合いますので、公共交通機関をご利用下さい。



スペシャル
guest
堀江淳



- 日時：7月23日(木)17時～21時まで
- 会場：真鶴港岸壁広場
- 主催：真鶴なぶら市実行委員会

なぶら市



真鶴 貴船まつりの由来

今からおよそ 1,100 年前の夏、真鶴岬の三ツ石の沖合いに毎夜不思議な光が現れ、海面をこうこうと照らしていました。ある日「平井の翁」という人物が磯辺に出てはるか沖を見渡したところ、光を背にした一隻の屋形船が波間に浮かび磯辺に近づいて来るので、船内を調べると、木像 12 体と「この神をお祀りすれば村の発展がある」と記された書状がありました。そこで翁は村人と力を合わせて社を建て、村の鎮守の神としてお祀りしたのが現在の貴船神社と伝えられています。

その後、村民の間に深く信仰され、17 世紀中ごろには船に御霊をお移して港内漁船、石船の祈祷をして回り、また神輿が 3 年に一度村内を渡御するようになり、現在の貴船まつりの起こりと言える基本形式が生まれました。

近世以降の真鶴の人々は、生活の基盤を漁業、石材採掘業、石材回漕業などにおいていましたが、当時の漁業、回漕業に使用されていた船は型の小さい帆船が多く、石材業においても現在のような機械の導入がないため、いずれも厳しい自然の中で、常に危険にさらされながらの生活でした。このような日常の苦労が、独自の技術と村落の団結力、そして篤い信仰心を高めていき、これが貴船まつりに結集され、祭りの特色を作っていました。それらは、祭りに登場する船の構造や進水、操船の方法や腕くらべ、力くらべともみられる各行事、また各部組織の結束や祭りに関する厳しいしきたりなど、随所にみられます。

古来、貴船まつりは「恩返しのみつり」と言い伝えられてきました。漁業や海運業、石材業界における大漁や安全の祈願とともに、またそれ以上に日常の安泰な活動の営みへの大いなる加護に深い感謝の心を込めて、夏の真鶴の熱気をさらに高めつつ、勇壮・華麗に繰り広げられます。

7月24日（金曜日）

7月25日（宵宮）の朝、東西小早船が進水し（水浮）、お仮殿前の海岸に神輿船、東西の囃子船、權伝馬とともに並び待機します。

献幣使の神輿船乗船を合図に囃子船は一斉に囃子を打ち込み、權伝馬が他の諸船を曳航し、宮前海岸に向かいます（お迎え）。海岸に到着した献幣使以下一行は、鹿島連の出迎えを受けつつ神社に向かいます。

この後神社において例大祭が行われ、祭典終了と同時に境内下で鹿島連による鹿島踊りが奉納されます。神社では発輿祭が行われ、神輿、鹿島連、神職、祭典役員等は諸船が係留されている宮前海岸に向かいます。神輿船に乗船後、再び囃子が打ち込まれ、各船はお仮殿前の海岸に向かい、一行は上陸します。

神輿は上陸後、西船揚場付近で海に入るなど（禊）の後、お仮殿に納め、仮殿祭が執り行われ、終了後、鹿島踊りが奉納されます。また、花山車は発心寺から下降し、お仮殿に納められ、宵宮の日程は終了します。

※ 貴船まつりは、2022年（令和4）まで毎年7月27日および28日に開催されていましたが、2023年（令和5）から「7月の最終土曜日とその前日」の開催に変更となりました。

7月25日（土曜日）

7月26日朝、花山車はお仮殿前に、鹿島連は西本祓で待機後、それぞれ同時に出発し、その中間地点ですれ違いますが（あいちがい）。鹿島連がお仮殿前に到着後、発輿祭が行われ、この後、鹿島踊り、花山車が順次奉納され、花山車、鹿島連、神輿、囃子が町内渡御をはじめます。

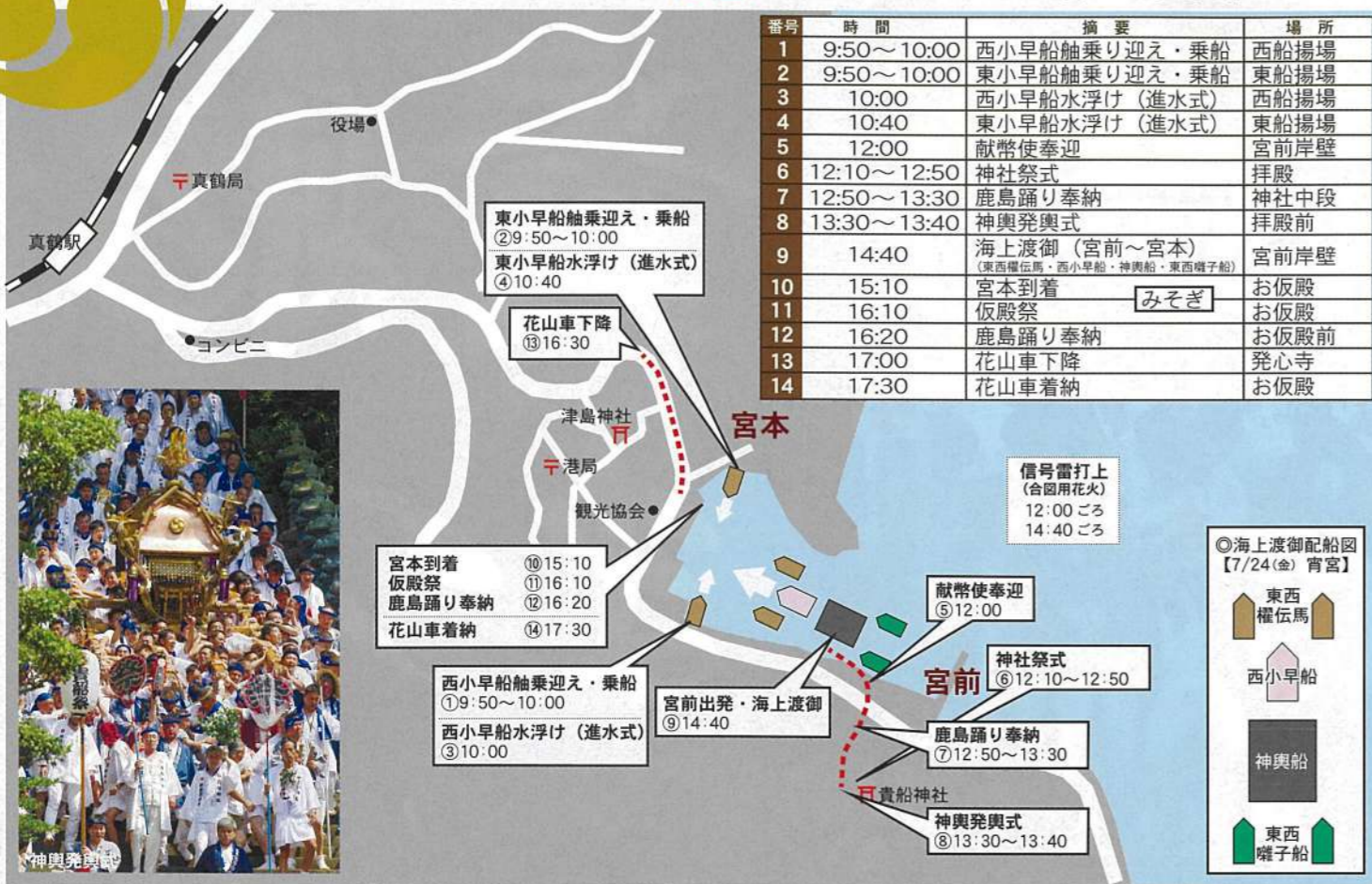
夕方、町内を巡った神輿がお仮殿に納まり、鹿島踊りが奉納されます。このころ、東西の小早船には舳乗り役の長老が乗船、各船には提灯に灯りがともされ出航の準備を完了しています。

お仮殿前の鹿島踊りが終わり、祭主の乗船を合図に囃子が打ち込まれ、諸船は宮前海岸に向かいます（お送り）。その後、神輿が神社に還御し、鹿島踊りの奉納で貴船まつりは完了します。



令和8年 貴船まつり 宵宮 運行予定表 7月24日(金)

番号	時間	摘要	場所
1	9:50~10:00	西小早船乗迎え・乗船	西船揚場
2	9:50~10:00	東小早船乗迎え・乗船	東船揚場
3	10:00	西小早船水浮け(進水式)	西船揚場
4	10:40	東小早船水浮け(進水式)	東船揚場
5	12:00	献幣使奉迎	宮前岸壁
6	12:10~12:50	神社祭式	拜殿
7	12:50~13:30	鹿島踊り奉納	神社中段
8	13:30~13:40	神輿発輿式	拜殿前
9	14:40	海上渡御(宮前~宮本) <small>(東西權伝馬・西小早船・神輿船・東西囃子船)</small>	宮前岸壁
10	15:10	宮本到着	お仮殿
11	16:10	仮殿祭	お仮殿
12	16:20	鹿島踊り奉納	お仮殿前
13	17:00	花山車下降	発心寺
14	17:30	花山車着納	お仮殿



小早船 (こばやぶね)

貴船まつりの特色は、神輿が海上渡御により村里にお出ましになる船祭りであることですが、中でも東西に華を競う小早船の存在は、祭りの花形です。

長さ 12~13m、幅 2.5mの船体に、細長い8畳ほどの屋形が組み立てられ、屋形および船の前後左右を色とりどりの装飾で隙間なく飾りたてます。

船首には「舳乗り」、船尾には船頭、櫂使い、水夫を乗せ、運航等に万全を期します。この小早船の海上渡御の神事では、観客の面前で船体を左右に大きく揺さぶりながら方向を変える姿が見どころの一つですが、船の復元力の保持や組み立てられた屋形の安全性および進水、操船の方法などに習熟した技術が要求されます。



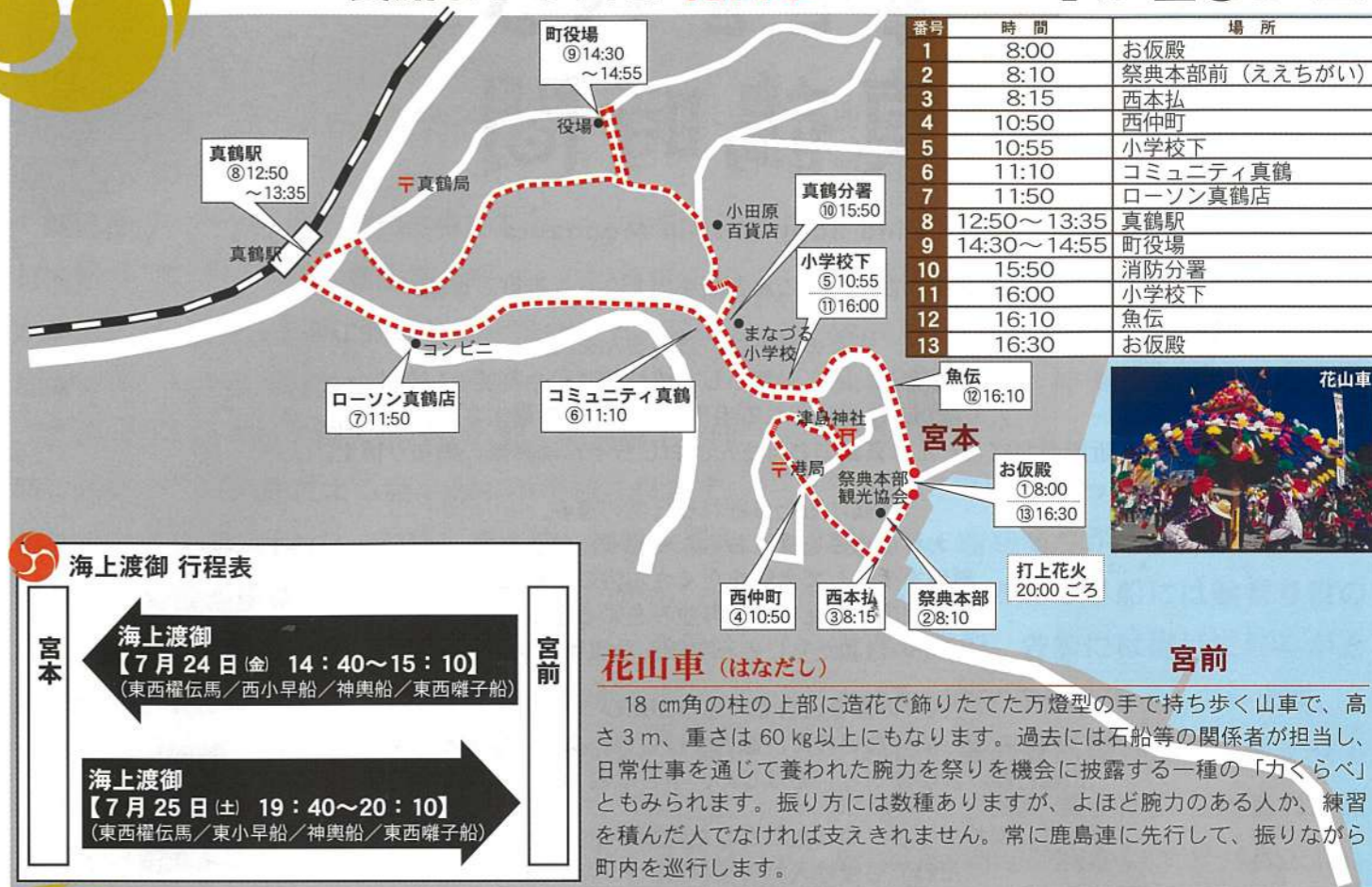
權伝馬 (かいでんま)

海上渡御にあたり、神輿船・小早船2隻・囃子船2隻の計5隻の船を曳航する2隻の手漕ぎの大型伝馬船です。曳航には相当の力を要し、航行の途中から競漕も行われます。過去にはこの競漕で村落の東西に分かれて激しく競い合った歴史もあります。この伝馬船の操作こそ海に生きる人々の必須の技術であり、海難事故の際には神社の倉庫から小早船や權伝馬を出して救助活動に生かされたこともしばしばありました。



令和8年 貴船まつり当日 花山車 運行予定表 7月25日(土)

番号	時間	場所
1	8:00	お仮殿
2	8:10	祭典本部前(ええちがい)
3	8:15	西本払
4	10:50	西仲町
5	10:55	小学校下
6	11:10	コミュニティ真鶴
7	11:50	ローソン真鶴店
8	12:50~13:35	真鶴駅
9	14:30~14:55	町役場
10	15:50	消防分署
11	16:00	小学校下
12	16:10	魚伝
13	16:30	お仮殿



海上渡御 行程表

宮本 ←	海上渡御 【7月24日(金) 14:40~15:10】 <small>(東西權伝馬/西小早船/神輿船/東西囃子船)</small>	宮前
宮本	海上渡御 【7月25日(土) 19:40~20:10】 <small>(東西權伝馬/東小早船/神輿船/東西囃子船)</small>	宮前

花山車 (はなだし)
18 cm角の柱の上部に造花で飾りたてた万燈型の手で持ち歩く山車で、高さ3m、重さは60kg以上にもなります。過去には石船等の関係者が担当し、日常仕事を通じて養われた腕力を祭りを機会に披露する一種の「力くらべ」ともみられます。振り方には数種ありますが、よほど腕力のある人か、練習を積んだ人でなければ支えきれません。常に鹿島連に先行して、振りながら町内を巡行します。

令和8年 貴船まつり当日 鹿島踊り 運行予定表 7月25日(土)

番号	時間	場所
1	8:00	西本払
2	8:10	祭典本部前(ええちがい)
3	8:15	お仮殿
4	8:25~9:05	お仮殿(奉納)
5	9:10~10:00	西本払い(奉納)
6	10:00~10:30	西仲角(奉納)
7	10:55	小学校下
8	11:10	コミュニティ真鶴
9	11:50	ローソン真鶴店
10	12:50~13:35	真鶴駅(奉納)
11	14:30~14:55	町役場(奉納)
12	15:50	消防分署角
13	16:00	小学校下
14	16:10	魚伝
15	18:50~19:30	お仮殿(奉納)
↓	19:40~20:10	海上渡御・還幸祭 <small>(宮本~宮前) <small>(東西權伝馬・東小早船・神輿船・東西囃子船)</small></small>
16	20:30~21:10	貴船神社(奉納)
17	21:20~22:00	津島神社(奉納)



鹿島踊り (かしまおどり)
鹿島踊りは、相模湾西岸、小田原西部から伊豆北川までのいずれも石材産出に関わった地域の22社で行われる神事で、悪疫退散とともに大漁や海上安全を祈願しての踊りといわれ、他市町が白装束で頭に烏帽子をかぶるのに対して、貴船まつりは浴衣姿に3色の色帯、そろいの手甲飾り、無帽です。これは昔から「小江戸」と呼ばれたほど華やかさを誇っていた地域性を反映したもので、真鶴の解放的な指向がうかがわれます。「貴船まつりは鹿島踊りに始まり、鹿島踊りに終わる」とさえ言われるほど、祭りに密着し、見どころの一つとなっています。



幸せをつくる 真鶴時間

Find happiness in Manazuru

神奈川県の西、ちょこんと顔を出す小さな港町、真鶴。

人々の営みは、昔のまんま。
歴史を育み、どこか懐かしく感じる風景や町並み。
人の温かみを感じられる手作りにこだわる職人さん。
近所のおばちゃんは真鶴のお母さん、おじちゃんは真鶴の物知り博士。

真鶴にもたらされる自然の恵み。
お林の恵みを受けおいしく育った魚たち。
斜面を生かして太陽をたくさん浴びた柑橘類。
町の繁栄を支えてきた町並みを彩る本小松石。
それは私たちにとってみんな宝物です。

人々の営みと自然の恵みが結びつく場所。
約束などしていないのに、惹きつけられたように集まる人々。
伝統行事「貴船まつり」をはじめ、小さな催しもそのひとつです。

素朴ですが、ゆったりとした時間の中でホッとする。
だれでも受け入れてくれる、人のぬくもり。
ちょっと町へ出ると、いつもの顔にたくさん出逢える。
“幸せをつくる真鶴時間”

※ 真鶴町観光グランドコンセプト

イベント情報

～真鶴町重要伝統文化行事～

いわちこ

岩兒子まつり

● 7月19日(日) ● 岩地区

岩地区にある兒子神社の例大祭。神輿と花山車がぶつかり合う迫力あるお祭りです。

マナ真鶴 ～ハワイアン・タベ～

● 9月26日(土) ● お林展望公園

商工会青年部主催のフラダンスイベント。ハワイアン・フラ愛好家が大集結します！

～海のまち豊漁豊作祭～

真鶴よさこい大漁フェスティバル

● 11月14日(土) ● 真鶴港

真鶴港が1日よさこい踊りで盛り上がる！海上ステージでの演舞は真鶴ならではの。

しだれ桜の宴

● 3月下旬～4月上旬 ● 荒井城址公園

商工会青年部主催のお花見イベント。

～真鶴町重要伝統文化行事～

岩海岸夏まつり

海のまち豊漁豊作祭「真鶴夏色まつり」共同開催

● 8月1日(土) ● 岩海岸

灯籠流し、盆踊り、花火大会など、岩地区で継承されている先祖供養の夏まつりです。

アクセス



問い合わせ

■ 貴船まつりに関するお問い合わせ
真鶴観光のご案内は…

一般社団法人 真鶴町観光協会
駅前案内所 TEL 0465-68-2500
観光協会 TEL 0465-68-2543



真鶴町観光協会
ホームページ

■ その他
真鶴町や
貴船まつりの
情報は…



真鶴町
ホームページ



貴船まつり推進本部
ホームページ